



2月の産山村星空観察会

天空が広がるうぶやまの高原には冷たい北風が吹き渡り、天文台の周りは凍てついて、厳冬期の様相を呈していますが、陽が長くなり春の気配が感じられます。しかし、夜空は、まだまだ凍てつく冬の星空です。

イベント情報

1. 日付 令和8年2月13日(金) / 2月27日(金)
2. 時間 日没後(18時00分頃) ~ 22時00分
3. 場所 うぶやま天文台(ファームビレッジ産山内)
4. 持参物 星座早見盤(持っていない人は配布します)
★防寒着(天文台内部は機材管理の暖房はしません)
★産山村民の入館料は無料です。
5. お問合せ 産山村教育委員会(0967-25-2214)

指揮員コラム(天体情報・見どころ)

2月の産山村星空観察会は2月13日(金)、27日(金)の2回開催されます。今回は「見たら長生きするカノープスを見よう」というテーマで行います。

星空は東から春の星座が昇り始め、秋の星座は西へと沈み始めています。夕方、太陽が沈んだ西の空には水星、土星、南の高い空には木星などの惑星が輝き、大変にぎやかです。

天高く冬の星座が輝き、1等星を結んだ「冬のダイヤモンド」(カペラ、ポルックス、プロキオン、シリウス、リゲル、アルデバラン) や「冬の大三角」(プロキオン、ベテルギウス、シリウス) や南の空低く祖母山の端に、この星を見たら長生きするといわれている「りゅうこつ座」の1等星カノープス(古代の中国では寿老人、南極老人星と呼ばれた) が良く見えます。このように冬は1等星が8個もあり、大変賑やかな星空です。凍てつく空は澄み渡り、絶好の天体観測シーズンです。

話題のカノープスは午後7時頃過ぎ南東の空に昇ってきます。午後8時以降見られるようになり、南中するのは午後9時頃で、その時の高度は産山では約4度と大変低く地平線すれすれに見ることができます。(次のページへ続きます。)

観察対象 1

主な地点でのカノープスの南中高度と南中時刻(2月)

場所	南中高度	南中時刻(1日)	南中時刻(11日)	南中時刻(21日)
那覇	11.2度	22時05分	21時27分	20時47分
福岡	3.9度	21時55分	21時16分	20時36分
京都	2.5度	21時34分	20時54分	20時15分
東京	1.9度	21時18分	20時38分	19時59分
福島	0.1度	21時15分	20時36分	19時56分



オリオン大星雲(M42)



冬のダイヤモンド

観察対象2



カノープスは2月中旬には産山では20時頃地平線すれすれに南中して数時間観察できます。この星は南の空低くにあり関東以北では見ることができず古来中国では「寿老人」、「南極老人星」と呼ばれ、見た人は長生きすると言い伝えられています。



冬の大三角・カノープスの探し方（国立天文台より）